

柏崎市新庁舎の建設整備に係る提言書

平成27年12月

柏崎市議会

目 次

- 1 庁舎の現状と課題について - 1 -
- 2 新庁舎の規模と防災を含む機能、建設思想、市民サービスについて - 1 -
- 3 建設手法とその財源と課題について - 3 -
- 4 新庁舎建設と庁舎周辺の利活用について - 3 -
- 5 その他柏崎市新庁舎に付随する課題 - 4 -

1 庁舎の現状と課題について

議会は、このことについて、次のとおり認識している。

(1) 施設の老朽化と劣化が進んでいる。

- ア バリアフリーが不十分である。
- イ 会議室が不足している。
- ウ ICTに対応していない。
- エ 交流スペース、フリースペースが少ない。

(2) 窓口が分散している。

(3) 議会棟と行政棟との独立性がない。

(4) 防災拠点としての機能強化の必要性を感じる。

(5) 駐車場が不足している。

これらの課題を踏まえ、次のとおり当議会の意見を集約したので提言する。

2 新庁舎の規模と防災を含む機能、建設思想、市民サービスについて

(1) 防災拠点としての機能を確保されたい。

- ア 免震機能を採用されたい。
- イ 旧西山、高柳庁舎の活用（災害時における分散化）
- ウ 100～200 t級の地下式防火用水の配備
- エ 原子力発電所のテレメーターオンライン化
- オ バックアップ電源として水素エネルギー等を利用
- カ 雨水ポンプの定期的な運転管理
- キ 上層階に電源を配置

ク 原子力防災への対応（常設の防災会議室、アルフォーレ（避難所）との光ケーブル敷設）

ケ 十分な行政機能を果たすため地震・水害・豪雪等の自然災害対策、長時間停電対策、雷対策

（2）ワンストップサービスを採用されたい。

（3）ユニバーサルデザインを採用されたい。

（4）ICT化へ対応されたい。

（5）誰でも利用可能な設備（おもてなし機能）を配置されたい。

ア 食堂、売店、ATM、郵便機能

イ トイレ・エレベーターの適切な数と設置位置

ウ 市民サービスとしての喫煙所の設置（分煙の徹底を行う）

（6）庁舎内の案内を充実されたい。

（7）コストを考慮しつつ、木の温かみを多く取り入れられたい。（地元木材）

（8）アルフォーレや駅前公園等、周辺地域との景観力を高められたい。

ア アルフォーレとのバランスを考慮し、統一感を図られたい。

（9）屋根付き公共バス停を設置されたい。

（10）キッズスペース（授乳室含む）を確保されたい。

（11）柏崎税務署、柏崎年金事務所、柏崎保健所などの複合化に関して検討されたい。

ア 将来的に市民サービス向上に向け前向きな検討を進められたい。なお、現時点での実現は難しいことから、将来を見越して、窓口・相談機能を設けることの協議をされたい。

(12) 環境共生型の施設、再生可能エネルギーを大胆に追及（自立電源、売電による財政貢献、蓄電）されたい。

ア 自然空調の部分については、導入自治体の状況を確認するなど、採用の際は精査されたい。

(13) 福祉に資する雇用の場への配慮をされたい。

(14) 地元の経済に資するよう配慮されたい。

3 建設手法とその財源と課題について

(1) 将来の財政負担軽減のため、事業コストの削減を図られたい。

4 新庁舎建設と庁舎周辺の利活用について

(1) 新庁舎の建設においては、庁舎周辺の利活用も視野に置く必要があると考えることから、庁舎周辺の利活用については、「柏崎駅前地区都市再生整備計画」との整合を図ることを基本に据えながら、当該整備計画に基づいた上で、次のとおり整備されたい。

ア 物産館の設置を検討されたい。

イ 回遊性を持たせられたい。

ウ デジタル表示等の観光案内機能を設けられたい。

エ 駅南との連携を図られたい。

オ 交通体系を充実されたい。

カ サイカワ跡地の利用、商業地区として整備されたい。

5 その他柏崎市新庁舎に付随する課題

(1) 新庁舎の建設に当たっては、次の点についても配慮されたい。

- ア 新庁舎の防災・交流スペースとアルフォーレ、産業文化会館等の近隣の公共施設との連携を図られたい。
- イ 災害（水害）等への対応については、それが想定される、されないにかかわらず調査されたい。
- ウ 中心部においても緊急（災害）時に対応できるよう、ヘリポートを整備されたい。
- エ 当市の自然環境を考慮すれば、風、雨、雪への対策が必要であることから、柏崎駅からの連絡通路を設置するなど、周辺環境を整備されたい。